

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 極低出生体重児の腹部膨満に対する大建中湯の有効性に関する後ろ向き観察研究
	研究の対象 2016年4月1日～2021年3月31日に浜松医科大学医学部附属病院周産母子センターの新生児集中治療室（NICU）に入院し大建中湯の投与を受けた方 30名
	研究の目的 1500g未満で生まれた極低出生体重児では、その未熟性と出生後の様々なストレスから腸管運動機能が低下し、腹部膨満をきたしやすいことが知られています。腸管運動機能を改善し腹部膨満を軽減することは、児の栄養状態の改善、ひいては生命予後の改善や後遺症の予防に重要です。当院では極低出生体重児が腹部膨満をきたした場合、腸管運動機能改善を目的として漢方薬の1つである大建中湯の投与を行っています。そこで、その効果について過去に当院周産母子センターNICUに入院して大建中湯の投与を受けた出生体重1500g未満の方の診療録（カルテ）の情報を収集して評価する研究を行うこととしました。この研究は極低出生体重児の腹部膨満に対する大建中湯の効果を客観的に評価することを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2023年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は 提供する試 料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：性別、在胎週数、出生体重、腹部膨満の程度、胃残量、排便回数、排便量、腹部単純レントゲン検査所見、肝機能、腎機能 等
利用する者	機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲</p>	<p>浜松医科大学 地域周産期医療学講座 飯嶋重雄</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 地域周産期医療学講座 飯嶋重雄</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 地域周産期医療学講座</p> <p>担当者： 飯嶋重雄</p> <p>TEL： 053-435-2312</p> <p>E-mail： sijjima@hama-med.ac.jp</p>